

総評

本県の新型コロナウイルス感染症の新規発生数は、本稿を執筆している今日まで3週間以上ゼロ若しくは3名以下を続けている。PCR検査システムによる感染者判定の体制をいち早く確立し、引き続き本県の防衛体制を主導している本センターの貢献が大きいことは言うまでもない。そして、本センターの研究活動も元に戻ってきたことは大変喜ばしい。

中間評価対象3題はいずれも大気や水に関する県民の関心が高い課題である。それぞれに研究の成果が得られつつあり、本県の施策に繋がるように今後の展開を期待する。

事前評価対象2題の薬剤耐性菌と小児感染症は全国的に問題になっている課題である。より大きな研究成果を上げられるように、指摘事項を参考に研究計画を練り上げて開始されることを望む。

早川 和一